

みずえだに新聞

Vol. 5
2013年12月
臨時増刊号



院長のささやき

この一年を振り返って



今回の名言

『ひとりで見える夢は夢でしかない。しかし誰かと見る夢は現実だ。』

一オノ・ヨーコ



☆一人ではどうしようもないことも、誰かと共に目標に向かうことで実現させることができます

二〇一三年、今年も残すところ、あとわずかになってしまいましたね。本当に月日の経つのは早いものです。

さて、今年は皆様にとりましてどのような一年だったでしょうか？とつてもいい一年だったという方もいらつしやれば、うーん、なかなかうまくいかなかった年だったなあなんて、反省しきりの方もいらつしやるかもしれません。

私もこの時期になると、毎年のように一年を振り返ってみるのですが、なかなかこれが

満足のいく年などほとんど記憶にはないですねえ。かといって最低の年だったというようなことも滅多にはないですが。

その一年がいい年であったのかそれともあまりいい年ではなかったのか、細かい事柄については色々あると思うの

です。例えば、試験に合格した。何かの大会で優勝した。子供が生まれた。孫が生まれた。家を建てた。等々。

もちろん、そのような事柄のあった年は、今年はいい年だったなあと思うに違いありません。逆に、試験に落ちた。試合で勝てなかった。不幸があった。等々。そういう年は、今年あまりいい年ではなかったと思いますよね。

なにか特別な事があった年はその結果の良し悪しによって、一年の良し悪しまで決まってしまう。しかし、特別な行事もなく、平々凡々な一年の時もあります。問題はそのような特別な事柄のなかった年の反省をいかに行うかが大事なような気がします。

新年の目標を立てる方は大勢いらつしやると思うのですが、その目標が達成できたのかどうか、これは大事な判定

の判定でしょうか。引き続き来年も同じ目標を継続しないといけない事態のようです。

目標を掲げることは非常に重要な事です。その目標に向かって努力することも重要な事です。一年を区切りとして目標を設定し、そして達成できたかどうか省みてみる。その反省に従って次の目標を掲げる。そしてその目標を成し遂げるべく努力し続ける。この繰り返しによって人間は成長していくのだと思います。今回の反省点として、具体的な目標数値がなかったことですね。目標は漠然としたものではなく、出来るだけ具体的に立てることが重要だと思います。来年も同じ反省をしないように頑張りたいと思う今日この頃です。



副院長のこの一年

気が付けばカレンダーも残り一枚になってしまいました。年々月日の経つのが早く感じられます。今年もまあまあ良かったと言える一年でした。泣いて治療が大変だった子が、いつの間にか上手にできるようになったり、新しい歯が生えてきて一緒に喜んで。噛みにくかった食べ物が食べられるようになった方もいらつしやったりと、この仕事ならではの喜びがありました。私事では、一年の目標であった早寝・早起きはほとんど出来ず、遅寝・遅起きの生活で、規則正しい生活をと患者さんに言える立場ではないなあと反省しています。昔からの生活習慣はそう簡単には変えられそうありません。大学に勤務していた頃は、予防歯科を専門にしていましたので、患者さんの生活習慣の見直しは大きな課題でした。

歯が二本しかない患者さんを担当していた頃のことです。その方は、毎月受診され、毎日歯ブラシや歯間ブラシなど四種類の道具を使ってケアをされていました。その方が、もう少し早く予防について知っていれば、こんな風にならずに済んだのにと話されたことが今も忘れられません。こぼと幼稚園・大明丘小・吉野中と吉野で育った私が、地域で出来ることと考えると、予防について出来るだけ多くの方に知ってもらうことだと思っています。知らないから出来なかったということがないように、そしてまた、どうしたらより簡単に実行できるかを一緒に考えていきたいと思えます。早寝・早起きのように、わかってはいるけど出来ないのよねえという方のお役に立てれば、今年もよい一年だったと毎年言えるような気が致します。

院内研修

皆様にきちんとした治療を

するために、我々も日々勉強し、知識や技術を確かなものにしておく必要があります。

先日、そのためにスタッフそれぞれが勉強したことを発表し合い、お互いの知識を高め合えるような場を設けました。

ちよつと緊張しながらも、新人さん二人もしつかり発表してくれました。院長・副院長からの質問もばっちり答えられましたよ。さすが！



お店紹介

院長はカメラマンで写ってませ〜ん

(^^)v

今回のお店紹介は、天文館の『コパンコパン』です。先日、スタッフの飲み会で利用しました。洋風の居酒屋さんです。大いに食べて、飲んで楽しいひと時を過ごすことが出来ました。みなさんも是非行ってみて下さい。



編集後記



今年の一月に創刊致しました『みずえだに新聞』ですが、この一年でこの号を含め、五刊発行することが出来ましたことを感謝致します。最初はちゃんと作っていただけるのだろうか？何を書いたらいいのだろうか？作っても果たして読んでいただけるのだろうか？と期待より不安な気持ちで始めた新聞でした。しかし、短い診療時間では伝えきれない情報や日ごろの私たちの活動を少しはお伝えできたのではと感じています。手の手術の事では多くの方に大丈夫？と声をかけて頂き、有り難く思っております。毎号のネタ探しには頭を悩ませますが、おかげで写真に記録を残す習慣が出来、写真の加工をする技を覚えることが出来ました。ホームページでブログも更新していますので、そちらもご覧いただき、また感想をお聞かせください。本年もあと少し、体に気を付けてよいお年をお迎えください。